

平成29年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	理・工・医学の連携による津波の広域被害把握技術の深化と災害医療支援システムの革新
研究代表者	越村 俊一 (東北大学・災害科学国際研究所・教授) ※平成29年6月末現在
研究期間	平成29年度～平成33年度
コメント	<p>理学・工学・医学が連携した災害対策は非常に重要なテーマであり、新規性、独自性が認められる。「広域被害把握技術」の発展という目的も極めて魅力的であり、「災害医療支援システムの社会実装」については社会的要請が極めて高い研究と言える。</p> <p>応募者は津波防災工学に関する研究で世界でも有数の研究業績を既に上げており、本研究を遂行して十分な研究成果を上げることが期待される。</p> <p>以上の理由により、基盤研究（S）として推進することが適当と判断した。</p>